

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	豊島区駒込 2-2-3
園名	駒込第三保育園
法人	社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団

令和 7 年 2 月 26 日 対象 : 5 歳児

1. 活動のテーマ

<テーマ>

身近な【自然】

<テーマの設定理由>

・都心にありながら広い園庭があり、子ども達も日々自然と植物や昆虫等に関わる姿が多く見られる。日々何気なく触れている【自然】をテーマにし、再度子ども達に自然とは何か？を問いかけ再考し、普段見ている視点を変え、機器を用いて拡大してみることでなぜそのような形になったか？等自然への興味・関心をさらに深めて、発見を楽しめるようにしていきたい。

2. 活動スケジュール

- ・ 10.11 月 → 身近な(園庭)自然を採取・観察し絵に描いてみる。
- ・ 12～2 月 → マイクロスコープで肉眼で観察した時との違いを意識し再度絵に描いてみる
- ・ 2.3 月 → マイクロスコープで観察して気づいた事を発表する。(5 歳児)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ TV
 - ・ iPad 6 台
 - ・ マイクロスコープ 6 台
- ※グループごとに一緒に観察し、iPad に記録する。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・園庭に出て、自分の好きな自然物を一つ採取する。
- ・採取したものを肉眼で観察したあと、顕微鏡を使い再度観察する。
- ・タブレットで画像を記録する。
- ・違いや気づき、発見を TV モニターに映しみんなの前で発表する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・前回顕微鏡を使用していたこともあり、使い方を覚えている子どもが多く見られた。石、花を見つけて観察している子どもも多く見られ顕微鏡で見ると「なんか目で見ているものと形が違う」と形の違いに気づいたり、石を観察した子どもの中には「手で触るとつるつるしているのに、顕微鏡でみたらデコボコしていた」と感触との違いを発見していた。中でも色の違いに気づく子どもが多く「葉っぱは緑だと思っていたけど、よく見たら端っこに少し赤が混じっていた」等普段なら気づく事の出来ない発見を味わうことが出来た。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・顕微鏡で見ることによって、目で見るだけでは気づかない色の違い、素材の形状を発見する子どもの姿が多く見られた。そのことにより自分から図鑑を開いて調べたり、虫を顕微鏡で見たい等と子ども達の興味の幅も広がっていったように感じる。少しのきっかけでここまで子ども達が夢中になれる姿を見て、改めて普段の保育の中で声掛けや、働きかけの大切さを実感した。